

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	福井支部	(2) 記載者氏名:	井上 泰利	会員番号:	10996	事務局整理記入欄	福井 - 14
分水嶺区分	W121椿坂峠 ~ W125柳ヶ瀬山 ~ 刀根越	(3) 山行日:	2004年 10月 31日	(4) 天候	くもり		

(5) 参加者氏名および会員番号

宮本 数男	10622	木村 明	13219	山本 以久子	12260	穂高 欣司	一般参加
井上 泰利	10996	安立 勝重	10992	山縣 喜美子	11087	中山 勇	一般参加
清水 秀紀	11933	牧田 正弘	13784	大田 慶子	11088	村中 康雄	一般参加
野路 哲治	12627	大和 康郎	13872	岸本 トシエ	13871		
計							15名

(6) 山行記録: 位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	椿坂峠より点サギチョウの三角点を経て分水嶺到達後、分水嶺を歩き柳ヶ瀬山を経て刀根越で分水嶺離脱												
アプローチ:	刀根越の下の駐車場に下山用の車を配備。その後、椿坂峠に車で移動(林道 ~ 県道140 ~ R365)												
地点コード	地点名	2.5万分	経度E			緯度N			高度 m	所要 時間	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	椿坂峠												
分水嶺到達点W122	椿坂峠		136	9	44.8	35	38	22.9	506				1
W121	サギチョウ		136	9	32.7	35	38	28.4	627	0:20		A-2	2, 3
	サギチョウ西		136	9	25.5	35	38	28.2	612	0:10		B-3	4
W123	柞谷		136	9	37.9	35	37	42.7	558	0:40		B-2	5, 10, 11
	巡視路到達		136	10	7.8	35	36	50.5	448	2:13		B-2	11
	越前嶺南118		136	10	11.8	35	36	46.9	439	0:04		A-2	6
	巡視路終了		136	10	17.0	35	36	29.1	451	0:15		A-2	6
W124	柳ヶ瀬トンネル上		136	10	24.9	35	36	14.7	455	0:15		B-2	7, 12
	史跡:玄蕃尾城		136	10	32.6	35	35	56.4	447	0:15		B-1	8, 13
W125	柳ヶ瀬山(中尾山)		136	10	38.9	35	35	40.8	438	0:21		A-1	
分水嶺離別点	刀根越		136	10	34.7	35	35	38.7	382	0:07		A-1	9
歩行終了点	駐車場		136	10	31.9	35	35	41.0	350	0:04		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):												4時間44分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W121	サギチョウ	4	西15度	良好	標識等なし、藪林の中で頭だけ見える状態、探すのに手間が掛かる。
W123	柞谷	4	西10度	良好	標識等なし、樹林帯にて探すのに手間が掛かる。
W125	中尾山	4	真南	良好	遊歩道脇にて周辺の草が刈られていたため簡単に探せた。

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

- W122椿坂峠はR365上の分水嶺とした。(但し、この分水嶺の北向きの川は高時川、南向きは余呉川になり双方共琵琶湖に流れており大分水嶺ではない)
- 別荘分譲の為に、道路が入り組んで作られている。道路はかなり崩落が進んでいる所が多々有る。サギチョウに行く時、小屋1軒が有り、自家用車1台と男性1人見受けられた。小屋へ登る階段を利用して戴き、上の道路に出る。
- 「サギチョウ」の三角点は道路より山側に登った所に有り大分水嶺より少しずれている。三角点の土地は、場合によったら別荘用の私有地に登録されている可能性も考えられる。
- 「サギチョウ」から大分水嶺に到達した時、1軒の小屋が有りその敷地周囲を背丈程度の「かすみ網」で囲われていた。
- 途中、草がぼうぼうに生えた別荘分譲用道路を横切る。
- 関電の送電線、越前嶺南線118と119が巡視路上の分水嶺に建っている。
- カシミールの2.5万分の1の地図より旧北陸線廃線跡トンネル(現在県道140号活用)と分水嶺との交差点をGPSに記憶させ、分水嶺を通過する時、一番近い点をW124とした。
- 国指定史跡 玄蕃尾城(中尾山城) 城跡が平成11年7月13日に指定されている。よく整備され管理が行き届いている。
- 敦賀の人々は刀根越と呼んでいる。(福井県側の地区の名称は: 刀根) 現場には「刀根越」と「久々坂峠」の表示あり。「久々坂」のいわれが不明

(9) 水および植生に関連した特記事項

- 別荘用の道路の盛土の為に、分水嶺が替わった所がある。
- 主に滋賀県側は杉の植林帯、福井県側は雑木林が続いている。
- 最初は若杉の植林帯、雪越しの紐が張られ大変歩きにくい。トンネル付近は雑木林となっている。
- 福井県側も滋賀県双方共良く成長した杉林である。但し、分水嶺の帯状に自然林が残っている。又、玄蕃尾城近くになると自然林になり下草の笹の葉が大変短くなっている。鹿が幼葉を食しているのか、?

(10) その他の特記事項

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: